北米イノベーションエコシステムクラスターレポート(半導体)



日本貿易振興機構（ジェトロ）
ニューヨーク事務所
2025年04月

【免責条項】
本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。
なお、本レポートに記載の内容はすべて 2025年3月時点での情報です。
また、本レポートは、OCO Globalの協力を得てとりまとめました。

禁無断転載 Copyright (C) 2025 JETRO. All rights reserved

内容

I.　本調査の概要および調査手法

II. セクターおよびクラスター概要

III. フェニックス　Phoenix (AZ州、米国)

IV. オースティン Austin (TX州、米国)

V.　サンフランシスコ San Francisco (CA州、米国)

VI. オールバニー Albany (NY州、米国)

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

I.　本調査の概要および調査手法

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

1 本調査の概要

北米のイノベーション・エコシステムにおいて、日本企業のコラボレーション可能な機会を把握し、その結果を、日本企業および政策担当者向けに幅広く提供することを目的とする。

- **セクターの定義および報告書の対象範囲**：半導体分野とは、社会のデジタル化、AI・自動運転・IoTなど先端技術の高度化、ならびにサプライチェーンの強靭化を背景に、経済安全保障と産業競争力の観点から国家戦略の中核を成す技術領域である。高性能計算（HPC）・通信・自動車・医療機器などの先端産業を支える基盤技術であり、設計・製造・実装・検査におけるイノベーションが各国で加速している。特に先端プロセスの開発や、脱炭素社会への対応を見据えた省電力チップの研究も注目されている。
  本報告書は、北米における半導体産業に焦点を当て、以下の主要なサブカテゴリーを対象とする。
  - **設計・EDAソフトウェア： チップアーキテクチャ、IP開発、エレクトロニック・デザイン・オートメーション（EDA）ツール、システムオンチップ（SoC）の開発動向。**
  - **製造プロセス・装置： フォトリソグラフィ、イオン注入、エッチング、成膜、パッケージングなどに関連する製造装置および材料技術。**
  - **検査・試験・計測： ウェーハ検査、パターン整合性評価、テスト工程におけるAI活用、品質保証の高度化。**
  - **サプライチェーンとレジリエンス： 材料供給の多元化、国内生産回帰（リショアリング）、米国CHIPS法などの政策動向、リスク管理とBCP。**
  - **応用分野別の実装ニーズ： 自動車、通信（5G/6G）、医療機器、データセンター、軍事・航空宇宙分野における半導体の需要構造と技術要件。**
- **本報告の内容**：北米の半導体市場の全体像と、主要都市・州における半導体クラスターの分析結果を報告する。各クラスターでは、対象地域の技術・産業特性、政策環境、課題、投資・イノベーション動向、ならびに日本企業の参入機会、主要ステークホルダーの一覧を取りまとめる。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

2 調査手法およびクラスター特定

fDi Marketsの海外直接投資データ、PitchBookのベンチャーキャピタル動向、業界トレンドや地域分析に関するセクターレポートを活用。また、米国市場に関する深い知見と、報告書で取り上げた地域での実務経験を基に分析を実施した。

- ベンチャーキャピタル（VC）の動向および投資トレンドは、PitchBookを活用。PitchBookは、未上場企業および上場企業、投資家、取引、M&A、ファンド活動に関する詳細な情報を提供する包括的な金融データプロバイダーであり、データベースには世界で450万社および250万件の投資情報を含む。
- 直接投資動向のデータは、fDi Marketsを参照。fDi Marketsは、395,000件以上のプロジェクトと150,000社以上の企業に関するデータに加え、資本投資、雇用創出、企業プロフィールに関する情報を提供している。
- 幅広い業界動向を把握するため、業界レポート、学術誌、政府発行物、ニュース記事など、さまざまな二次情報源を活用した。
- ステークホルダーの特定および業界動向、半導体に関する情報収集において、OCOネットワークの専門知識を活用。チームが有する半導体分野での経験と米国市場に関する知見が、データの背景付けや市場動向の把握に寄与した。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

3 調査手法およびクラスター特定

半導体クラスターとして、フェニックス、オースティン、サンフランシスコ、オールバニーの４地域を選定。これらの地域は、以下の3つの主要要素に基づいて選ばれた。

1. **研究施設の存在：**各都市には、半導体分野の技術革新を支える大学、研究機関、ファブレス企業、製造装置メーカー、スタートアップ支援機構が集積している。
   - **フェニックス：**TSMC（台湾積体電路製造）とIntelが大規模製造拠点を展開。アリゾナ州立大学（ASU）を中心に材料・パワー半導体の研究が進む。Amkorなどパッケージ系企業も集積し、設計～製造～後工程の一貫体制が形成されつつある。
   - **オースティン：**UT Austinが先端CMOS・パッケージング研究をリード。Samsung、NXP、Applied Materialsが拠点を持つほか、車載・IoT向けのファブレス企業や中小MSSPが台頭。
   - **サンフランシスコ：**UC BerkeleyとStanfordを核に、EDA、AIチップ、チップレット設計の研究とスタートアップが集積。NVIDIA、AMD、Cadence、Synopsysなどの本社が立地し、VC投資も活発。
   - **オールバニー：**NY CREATESを中核に、EUV、先端パッケージ、材料開発に特化したR&D拠点。IBMやTokyo Electronが参画し、東海岸の国家戦略型半導体拠点として注目される。

2. **業界特化型ベンチャーキャピタル（VC）の集積：**米国の主要半導体クラスターでは、VC活動が地域特性に沿って進展している。サンフランシスコはRISC-VやAI向けチップに特化したVCが集積し、オースティンでは産業・車載分野の地域系ファンドが活発。フェニックスではTSMC・Intelの進出を背景にパッケージング・材料系スタートアップへの関心が高まり、オールバニーではNY CREATESを軸に大学・研究機関との連携型VCモデルが拡大している。
3. **半導体エコシステムの存在：**各都市では、設計から製造、評価、量産までを支える大学・研究機関、企業、政府、VCが連携し、研究・試作・商用化の一貫支援体制を整備。製造拠点誘致、人材育成、公共調達との連動などを通じて、米国国内での半導体供給能力の強化に貢献しており、日本企業にとっても戦略的な連携拠点として注目されている。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

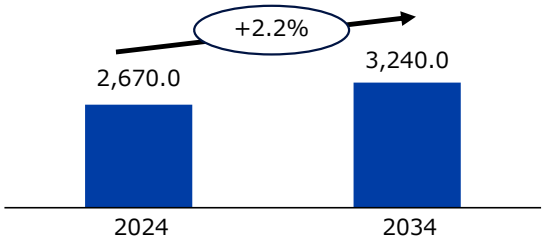
II.　セクターおよびクラスター概要

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

1 セクター概要

半導体分野における最新動向

- **AIとデータセンターによる成長加速：**PCやモバイル市場の需要が弱含む中でも、生成AIの普及とデータセンターの拡張により、2025年には半導体需要が急増すると予測されている。
- **先端パッケージング技術の革新：**性能要求の高まりに応えるため、異なるチップ技術を統合し効率性を向上させる先端パッケージングの開発が進められている。
- **持続可能な製造への転換：**環境への配慮から、半導体産業ではエネルギー消費や排出量の削減に向けた、より持続可能な製造プロセスの導入が進められている。
- **サプライチェーンの強靭化と多様化：**近年の混乱を受け、より強靭で多様なサプライチェーンの構築が半導体業界の最優先課題となっている。



北米半導体市場規模 (億米ドル)
出所：Prophecy Market Insights



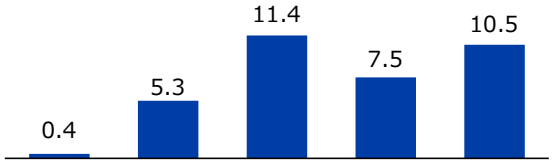
半導体分野の主要企業

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

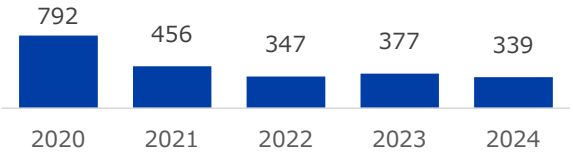
2 セクター概要

投資環境と資金調達動向

- **ベンチャーキャピタルと成長拠点：**米国の国家半導体技術センター（NSTC）の設立により、研究開発の強化が図られている。
- **IPO・M&A動向：**ソフトバンクによる2025年3月のAmpere Computingの65億ドル買収は、先端コンピューティングへの注目と業界の活発な動きを示している。
- **政府支援：**米政府はCHIPS法により2022年から527億ドルを半導体研究・生産に投入し、業界を積極的に支援している。
- **民間投資：**TSMCはアリゾナでの新工場と研究施設に1,000億ドルを投資。
- **資金調達の課題：**外国製半導体への関税など政策変更が投資判断に影響し、新規プロジェクトの採算性に不確実性をもたらしている。



北米半導体分野への外国直接投資(億米ドル)
出所：fDi Markets



北米半導体分野へのVC投資(億米ドル)
出所：Pitchbook

高成長サブセクター

- **集積回路（IC）：**2025年～2034年の年平均成長率（CAGR）は8.7%で、市場を支配している。
- **メモリチップ：**自動車分野で2022年～2030年にかけて年平均成長率11.5%と予測されている。
- **オプトエレクトロニクス：**2024年～2034年に年平均成長率11.2%と見込まれる。
- **AI半導体：**年平均58%の成長が見込まれ、2027年には市場規模2870億ドルに到達すると予測されている。

出所：fDi Markets, Pitchbook, Softbank Group

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

3 クラスター概要

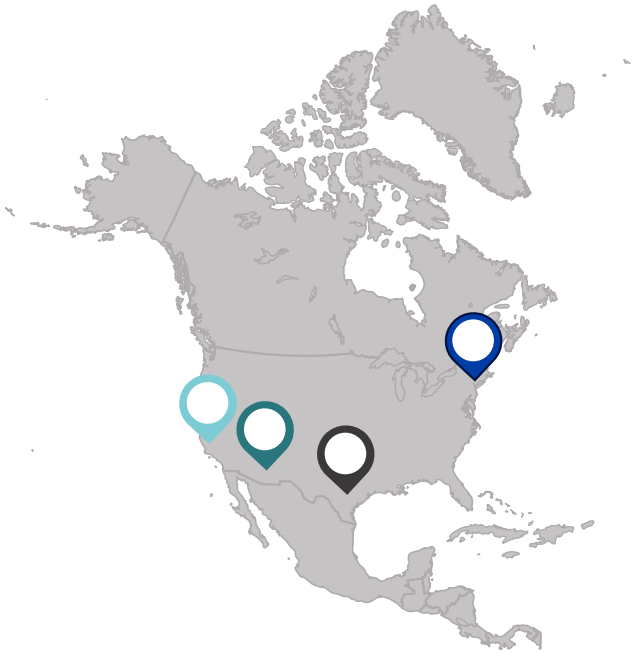
以下のクラスターは、北米における半導体産業の多様性と成長を示しており、先端製造、AI・自動車向けチップ開発、設計技術革新、公的支援によるR&D推進、そして専門人材の育成と確保において重要な役割を果たしている。

フェニックス（アリゾナ州）
IntelおよびTSMCの投資により、AIおよび自動車分野の成長を支える主要な半導体生産拠点として発展。

オースティン（テキサス州）
Samsungの半導体施設と強固な製造基盤が、オースティンを半導体産業における重要拠点に押し上げている。

サンフランシスコ・ベイエリア（カリフォルニア州）
AIやテクノロジー産業向けのチップ設計に特化した有力なファブレス半導体企業の集積地。

オールバニー（ニューヨーク州）
州の資金援助による取り組みを通じて、半導体R&D分野での革新とプロセス開発をリード。



Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

III.　フェニックス　Phoenix (AZ州、米国)

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

1 フェニックス概要

基本情報

- **都市の人口:** 165万人
- **州:** 米国アリゾナ州
- **半導体関連従業員数:** 10万人 (2024年)
- **半導体企業数:** 75社 (2024年)



米国におけるフェニックスの位置

クラスター概要

- アリゾナ州立大学（ASU）は、全米で最も革新的な大学として10年連続で評価されており、年間10億ドルを研究開発（R&D）に投じている。
- TSMC（台湾積体電路製造）は、2020年以降、フェニックスでの半導体製造拡大に向けて400億ドルを投資し、2つ目の半導体製造工場（ファブ）の建設も含まれている。
- インテルは、アリゾナ州チャンドラーにて2つの新工場建設および既存施設の近代化に向け、85億ドルの政府支援を提案されている。
- **業界平均給与：**12.8万ドル （アリゾナ州、コンピュータ・ハードウェア・エンジニア）



アリゾナ州におけるフェニックスの位置

出所：World Population Review, Asia Matters for America, Glassdoor

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

2 フェニックスの特長および課題

特長

- フェニックスは半導体製造の一大拠点として、世界の主要企業から多額の投資を集めている。特に台湾積体電路製造（TSMC）は、2020年から2023年にかけて先端半導体製造工場の建設に400億ドルを投資し、さらに2025年3月には5つの新たな製造施設の建設に向けて追加で1,000億ドルの投資を約束した。この前例のない投資は、フェニックスが世界の半導体サプライチェーンにおいて戦略的に重要な地域であることを示している。
- TSMCに加え、フェニックス周辺には堅固な半導体企業エコシステムが形成されている。たとえば、インテルはフェニックス郊外のチャンドラーに複数の製造拠点を構え、能力拡張にも積極的である。また、onsemi、Microchip Technology、Amkor Technologyといった企業も本社や主要拠点を構えており、多様でダイナミックな産業クラスターを形成している。
- アリゾナ州のビジネスに優しい環境も、こうした半導体投資を後押ししている。州内では人件費や固定資産税などの運用コストが比較的低く、製造業にとって魅力的な条件が整っている。さらに、州の規制手続きは迅速で、プロジェクトの承認や開発が円滑に進むよう政策的支援が行われている。
- また、地域の教育機関も半導体産業の持続的成長を支える重要な役割を担っている。アリゾナ州の大学は、年間約2,000人の半導体関連分野の卒業生を輩出しており、将来の人材供給に貢献している。州内の工学系プログラムには現在3.5万人以上の学生が在籍しており、産業界の進化するニーズに応える力強い人材パイプラインが確保されている。このような学術機関と産業界の連携は、半導体製造とイノベーションに不可欠な人材供給を支えている。

出所：Taiwan Semiconductor

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

3 フェニックスの特長および課題

課題

- **グローバルサプライチェーンの脆弱性：**半導体業界は世界的なサプライチェーンの混乱により深刻な供給不足と需要増に直面しており、リスク軽減のために製造拠点の見直しと多様化が進められている。
- **国際競争の激化：**各国が半導体製造を戦略的産業と位置づけ、巨額の補助金やインセンティブを打ち出す中、フェニックスもCHIPS法を活用して企業誘致に成功しているが、長期的な競争力の維持には継続的な制度整備が求められる。
- **人材育成の必要性：**フェニックスの半導体産業の急速な拡大に対応するためには、熟練労働者の継続的な供給が不可欠であり、教育・研修プログラムの強化が求められる。
- **環境・持続可能性への配慮：**製造拠点の拡大は水資源やエネルギー使用に関する環境問題を引き起こしており、地域社会の支持を得ながら持続可能な成長を実現するためにはこれらの課題への対応が重要である。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

4 日本企業の市場参入機会

- **サプライチェーン統合：**半導体材料や装置に特化した日本企業にとって、フェニックスの拡大する半導体サプライチェーンへの参入は大きな機会となっている。例えば、栗田工業株式会社の子会社Pentagon Technologies Groupはアリゾナ州メサに5,000万ドルを投資し、300人の新規雇用を創出した。この投資は地域のサプライチェーンを強化するだけでなく、日本企業によるさらなる参入の可能性を示唆している。
  - **事例：日本企業のアリゾナ訪問団**
    近年、日本企業によるアリゾナ視察が活発化している。こうした活動は、日本からの直接投資拡大とサプライチェーン強化への関心の高さを示している。
- **共同研究開発：**日本の研究機関は、アリゾナ州の大学や研究センターとの連携により、材料科学や製造プロセスなどの分野で技術革新を実現できる。こうした共同R&Dは知見の共有や長期的なパートナーシップの構築にもつながる。
- **地元企業との戦略的提携：**フェニックスに拠点を置く企業との提携は、日本企業の市場参入・拡大を容易にする。現地のインフラや市場知識を活用することで、参入障壁を低減できる。例えば、製造装置メーカーが現地ファブと協業し、専門機器やサービスを提供する形が考えられる。
- **人材育成への参画：**日本企業が教育・訓練プログラムに関与することで、熟練人材の育成に貢献し、地域社会との信頼関係を構築できる。教育機関との連携やトレーニングセンター設立を通じて、アリゾナ州における半導体人材のパイプライン強化が期待される。

出所：Consulate General of Japan in Los Angeles

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

5 ベンチャーキャピタル

業務形態	詳細	専門分野	日本企業との連携状況	ウェブサイト
Grayhawk Capital	Grayhawk Capitalはフェニックスを拠点とするアーリーステージのテクノロジー投資会社で、スケーラブルなエンタープライズおよびITベースのビジネスモデルを持つ企業に出資している。半導体サプライチェーンに関連する企業への投資実績がある。	アーリーステージテクノロジー、半導体応用、エンタープライズSaaS	国際研究交流にも積極的で、日本との連携の意向はあるが、正式な連携は確認されていない。	https://grayhawkcapital.us/
Arizona Tech Investors	Arizona Tech Investorsは、会員主導型のグループで、ディープテックおよび半導体分野のアーリーステージ企業に出資している。大学発のスタートアップとのつながりがあり、技術移転の取り組みも支援している。大手VCと共同投資することが多い。	ディープテック、半導体、大学発スタートアップ	日本への投資実績は確認されていない。	https://arizonatechinvestors.com/
Brookstone Venture Capital	Brookstone Venture Capitalは、半導体解析・監視分野を含むスケーラブルなB2Bソフトウェアおよびハードウェア企業に投資している。グロースステージの資金提供と事業運営支援を行っており、海外VCとの連携も時折ある。本社はフェニックスに隣接するスコッツデールに位置しており、地域の半導体・テクノロジーエコシステムと密接に関わっている。	半導体アナリティクス、B2Bテクノロジー、ハードウェアスケーリング	日本への投資実績は確認されていない。	https://www.brookstoneventurecapital.com/

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

6 アクセラレータ・インキュベーター

業務形態	詳細	専門分野	日本企業との連携状況	ウェブサイト
CEI Gateway Innovation Center	CEI Gateway Innovation Centerは、フェニックスにおけるスタートアップ支援の中核施設で、半導体試験、自動化、クリーンルーム技術に取り組むスタートアップを受け入れている。ラボスペース、試作支援、ビジネス指導を提供し、大学発スタートアップの利用も多い。	半導体試作、クリーンルーム試験、テック系スタートアップ	日本企業との明確な関係は確認されてない	https://www.ceigateway.com/
StartupAZ Foundation	StartupAZ Foundationは、地域アクセラレーターモデルを通じてアリゾナのイノベーションエコシステム強化に取り組んでおり、ディープテックや応用半導体スタートアップとも関わっている。包摂的成長とインパクト資金に注力している。	ディープテック、半導体起業家、スタートアップコミュニティ形成	日本企業との明確な関係は確認されてない	https://www.startupaz.org/
Perimeter83	Perimeter83は、University of Advancing Technology内に設置された支援拠点で、ロボティクス、組込みシステム、シリコン試作などに対応するスタートアップにラボやコラボレーションスペースを提供している。半導体周辺分野の起業家に適している。	シリコン試作、組込みシステム、ロボティクス	国際的な起業家の受け入れもあるが、日本との正式な連携は確認されていない	https://www.perimeter83.com/
The Innovation Hub @ Chandler	The Innovation Hub @ Chandler-Gilbert Community Collegeは、ハードウェアおよび半導体関連のアイデアに対応する試作ラボとメンタリングを提供している。Intelのアリゾナ拠点との強いつながりがあり、チップサプライチェーンに関わる企業とも連携している。	半導体試作、人材育成	日本企業との明確な関係は確認されてない	https://www.cgc.edu/news/2025/grand-opening-entrepreneurship-center

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

7 公的機関・研究機関

業務形態	詳細	専門分野	日本企業との連携状況	ウェブサイト
Arizona State University (ASU) - Center for Semiconductor Microelectronics	ASU（アリゾナ州立大学）のCenter for Semiconductor Microelectronicsは、材料、チップ設計、製造技術に関するイノベーションに取り組んでおり、TSMCやIntelと連携している。	チップ設計、半導体材料、先進パッケージング	国際研究交流も進めており、日本との連携にも関心を示しているが、正式な連携は確認されていない。	https://acme.asu.edu/
Greater Phoenix Economic Council (GPEC)	Greater Phoenix Economic Council（GPEC）は、半導体や先進電子分野へのFDIを促進しており、アジア市場へのアウトリーチも行っている。フェニックスをグローバル半導体拠点として位置付け、アジア向けの貿易ミッションにも参加している。	FDI促進、半導体エコシステム、アジアとの貿易連携	日本企業との明確な関係は確認されてない	https://www.gpec.org/
Arizona Commerce Authority (ACA)	Arizona Commerce Authority（ACA）は、州の企業誘致戦略を担う機関であり、TSMCなどの半導体企業をフェニックスに誘致する上で重要な役割を果たしてきた。	FDI誘致、州のインセンティブ、半導体政策	日本の経済産業省（METI）やジェトロとの連携実績もあり、日本からの訪問団を受け入れている。	https://www.azcommerce.com/
Maricopa Community Colleges Semiconductor Manufacturing Program	Maricopa Community Collegesは、半導体産業に対応した人材育成プログラムを展開しており、IntelやNXPによる業界支援を受けた技術者認定プログラムを提供している。	技術人材育成、半導体技術者	日本企業との明確な関係は確認されてない	https://www.maricopa.edu/degrees-certificates/science-technology-engineering-mathematics/semiconductor-manufacturing-3168-aas

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

IV.　オースティン Austin (TX州、米国)

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

1 オースティン概要

基本情報

- **都市の人口:** 97万人
- **州:** 米国テキサス州
- **半導体関連従業員数:** 1万6,000人 (2023年)
- **半導体企業数:** 150社 (2024年)



米国におけるオースティンの位置

クラスター概要

- テキサス州は、半導体および電子部品の輸出において12年連続で全米第1位を維持している。
- 同州は米国全体の理論的製造能力の約36%を占める最大規模のウェーハ製造能力を有しており、半導体製造企業数では全米第2位にランクされている。
- オースティンの半導体関連企業は、さまざまな資金調達段階において合計18億ドル以上を調達しており、地域の産業成長を支えている。
- **業界平均給与：**16.5万ドル (オースティン)



テキサス州におけるオースティンの位置

出所：World Population Review, Austin Chamber

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

2 オースティンの特長および課題

特長

- オースティンは、約1万6千人の従業員を擁する堅固な半導体産業基盤を有しており、Samsung、NXP Semiconductors、AMDなどの主要企業が集積することで、イノベーションと協業を促進するダイナミックなエコシステムを形成している。
- 特に、Samsungによるテイラー市での170億ドル規模の半導体工場建設をはじめとする大規模投資は、多数のサプライヤーおよび関連企業の誘致につながり、オースティンはグローバルな半導体サプライチェーンにおける中核拠点としての地位を確立した。
- テキサス大学オースティン校は、14億ドル超の半導体関連投資を背景に、最先端技術の研究および人材育成を牽引する役割を担っている。
- また、テキサス州は低税制と先進製造業に適した規制環境を有しており、オースティンには多くのテック企業が進出。これにより、地域の半導体産業はさらなる強化が図られている。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

3 オースティンの特長および課題

課題

- **グローバルサプライチェーンの脆弱性：**半導体業界は世界的なサプライチェーンの混乱により深刻な供給不足と需要増に直面しており、リスク軽減のために製造拠点の見直しと多様化が進められている。
- **国際競争の激化：**各国が半導体製造の戦略的重要性を認識する中で、投資誘致を目的とした政策・インセンティブが強化され、オースティンは競争力の維持に課題を抱えている。
- **人材育成の必要性：**オースティンの半導体産業の急速な拡大に対応するためには、熟練労働者の継続的な供給が不可欠であり、教育・研修プログラムの強化が求められる。
- **環境・持続可能性への配慮：**製造拠点の拡大は水資源やエネルギー使用に関する環境問題を引き起こしており、地域社会の支持を得ながら持続可能な成長を実現するためにはこれらの課題への対応が重要である。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

4 日本企業の市場参入機会

- **生産拠点の設立：**日本企業は、オースティンの活況な半導体産業を活かし、現地での生産拠点設立により供給網への参入が可能。例えば、CKD株式会社は1,300万ドルを投じてオースティンに初の米国工場を設立し、６０人規模の雇用を創出。同施設は半導体向け流体制御部品を製造している。
- **共同研究開発：**現地の研究機関との共同R&Dは、日本企業にとって大きな機会。レゾナックは、テキサス大学オースティン校主導のコンソーシアム「Texas Institute for Electronics（TIE）」に初の日本企業として参加し、半導体技術の共同開発を進めている。
- **デジタル変革連携：**日本企業は現地企業と連携し、半導体製造におけるデジタル変革を推進可能。Enthought社は、2023年に東京エレクトロンと5年間の契約を結び、DXの加速に取り組んでいる。
- **業界コンソーシアムへの参画：**TIEのような業界コンソーシアムへの参加は、最先端研究へのアクセスとネットワーキングの機会を提供し、日本企業の技術力強化に寄与する。
- **政府支援施策の活用：**テキサス州政府は「Texas Semiconductor Innovation Fund」を通じて半導体分野への支援を展開しており、同制度を活用したプロジェクトへの参画は、日本企業の市場参入・拡大を後押しする。

出所：CKD, Enthought

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

5 ベンチャーキャピタル

業務形態	詳細	専門分野	日本企業との連携状況	ウェブサイト
Silverton Partners	Silverton Partnersは、オースティンを代表する著名なベンチャーキャピタルであり、アーリーステージのテクノロジー企業への投資に注力している。ポートフォリオには、チップ設計やテストツールなど半導体関連企業が含まれている。テキサスのスタートアップエコシステムに強く根ざしており、豊富なメンタリングとネットワーク支援を提供している。	チップ設計ツール、ファブレス半導体、ハードウェア系スタートアップ	日本のVCとの直接的な関係はないが、アジア太平洋地域への展開を目指す企業に投資した実績がある。	https://www.silvertonpartners.com/
LiveOak Venture Partners	LiveOakは、テキサス拠点のテクノロジー企業を支援することに特化したオースティンのVCであり、エッジコンピューティングやパワーエレクトロニクスに強みを持つ半導体スタートアップに出資している。チームにはテクノロジストや元オペレーターが含まれており、実務的なスケーリング支援を行っている。	エッジAIチップ、パワーエレクトロニクス、組込みシステム	日本との正式な関係はないが、国際的な共同投資には前向きである。	https://liveoak.vc/
ATX Venture Partners	ATX Venture Partnersは、B2Bテクノロジーおよび産業用ハードウェアスタートアップを支援しており、産業用IoTアプリケーションに特化した半導体企業も含まれている。地域経済の成長と技術導入に重点を置く投資モデルを採用している。	産業用IoT、製造向け半導体	過去にアジア関連ミッションを通じて日本での協業機会を探った実績があり、国際的な投資家ネットワークにも積極的に関与している。	https://www.atxventurepartners.com/
Next Coast Ventures	Next Coast Venturesは、非沿岸部の高成長テクノロジー企業に投資している。最近では、AIアクセラレーションやクラウドインフラに特化したハードウェアおよびチップ関連スタートアップをポートフォリオに追加している。	AIハードウェア、チップ アクセラレーション、クラウドエッジ 半導体	国際展開を支援する体制が整っているが、日本との正式な連携は公開されていない。	https://www.nextcoastventures.com/

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

6 アクセラレータ・インキュベーター

業務形態	詳細	専門分野	日本企業との連携状況	ウェブサイト
Capital Factory	Capital Factoryは、テキサスで最も活動的なアクセラレーターであり、半導体スタートアップを含むハードウェア特化トラックを提供している。メンタリング、資金調達機会、ラボスペースを提供し、ディープテックのイノベーションを支援している。Defense Innovation Hubでは半導体の試作パイロットも実施している。	防衛向け半導体、AIチップ、ハードウェア試作	JETROやその他のパートナーを通じて日本の代表団を受け入れた実績がある。	https://capitalfactory.com/
Austin Technology Incubator (ATI)	ATI（University of Texas at Austin内）は、エネルギー、水、モビリティ、ディープテック関連スタートアップをインキュベートしており、半導体分野では先端材料やクリーンルーム技術に取り組む企業を支援している。	半導体材料、クリーンエネルギーチップ、スマートセンサー	アジアの大学との提携を含む国際連携を推進しており、日本の大学やスタートアップとの連携にも前向きである。	https://ati.utexas.edu/
Techstars Austin	Techstarsは、オースティンで構造化されたアクセラレータープログラムを運営しており、ハードウェア・ソフトウェア統合システムにおける半導体アプリケーションを持つスタートアップを含んでいる。	組込みシステム、産業オートメーション、ロボティクス	産業オートメーションやロボティクス分野のスタートアップを多数輩出しており、アジア圏、特に日本のテクノロジー企業との連携を含むグローバルネットワークを持っている。	https://www.techstars.com/blog/techstars-austin-accelerator
MassChallenge Texas	MassChallenge Texasはボストンに本拠を置きながらもオースティンに強いプレゼンスを持ち、ディープテックコホートを通じて半導体関連スタートアップを支援している。	ディープテック、クリーン半導体、量子コンポーネント	国際プログラムと国境を越えた協業に定評があり、日本企業が審査員やパートナーとして過去のチャレンジに参加している。	https://masschallenge.org/hubs-united-states/

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

7 公的機関・研究機関

業務形態	詳細	専門分野	日本企業との連携状況	ウェブサイト
Texas Institute for Electronics (TIE)	TIEは、オースティンに拠点を置く半導体およびマイクロエレクトロニクス研究コンソーシアムであり、官民連携のもと国内半導体製造を支援している。CHIPS法に基づく主要資金受給者であり、国際的なベンチマーク活動も行っている。	マイクロエレクトロニクス、CHIPS法、先進パッケージング	日本の研究者がR&Dワークショップに参加した実績がある。	https://www.txie.org/
UT Austin Microelectronics Research Center	当研究センターは、半導体デバイス、ナノファブリケーション、オプトエレクトロニクスに注力しており、グローバルな研究者との連携と商業化支援を行っている。	ナノファブリケーション、オプトエレクトロニクス、半導体物理	東京大学や名古屋大学など日本の機関と双方向のカンファレンスを開催しており、日本の学生も共同研究に参加している。	https://www.mrc.utexas.edu/
Applied Research Laboratories, UT Austin	ARL（Applied Research Laboratories）は、防衛研究と先端チップ技術を対象にしており、安全な半導体システム設計に取り組んでいる。航空宇宙および海洋分野に関連するセンサー型半導体システムを扱っており、国内外のパートナーと連携している。	セキュアチップ、センシング、システム統合	日本との正式な連携はないが、国際協力には前向きである。	https://www.arlut.utexas.edu/
Texas Advanced Computing Center (TACC)	TACC（Texas Advanced Computing Center）は、全米屈指のスーパーコンピューティングインフラを有しており、半導体研究者と連携してチップシミュレーションやモデリングを支援している。主な注力分野はチップのシミュレーションとデータ集約型ワークロード。	チップシミュレーション、スーパーコンピューティング、材料科学	UTオースティンや国際大学と連携しており、日本の教育機関も学術プログラムを通じてTACCを利用している。	https://www.tacc.utexas.edu/

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

V.　サンフランシスコ San Francisco（CA州、米国）

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

1 サンフランシスコ概要

基本情報

- **都市の人口:** 81万5,000人
- **州:** カリフォルニア州
- **半導体関連従業員数:** 6万3,000人 (2024年)
- **半導体企業数:** 110社以上 (2024年)



米国におけるサンフランシスコの位置



カリフォルニア州におけるサンフランシスコの位置

クラスター概要

- 110億ドルを超える輸出額により、半導体はカリフォルニア州における最大の輸出品目となっている。
- サンフランシスコの半導体セクターでは、過去10年間で総額16.9億ドル以上の資金調達が行われており、2024年だけで2.11億ドルが調達された。
- シリコンバレーを擁するベイエリアは、スタンフォード大学やUCバークレーなどの大学、Intel、NVIDIA、AMDといったテック大手、そして世界的な研究機関によってイノベーション文化が醸成されており、半導体分野における人材の中心地となっている。
- **業界平均給与：**29万5千ドル

出所：World Population Review, Glassdoor

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

2 サンフランシスコの特長および課題

特長

- ベイエリアには、世界的な技術革新を推進する著名な半導体企業が数多く集積している。Applied Materials、Intel、NVIDIA、AMD、Marvell Technology などがこの地域に主要拠点を構えており、たとえばApplied Materials（本社：サンタクララ）は、ほぼすべての最新チップや先端ディスプレイの製造に用いられる材料工学ソリューションで世界をリードしている。こうした企業の集中により、イノベーションと産業成長を促進する協業的な環境が形成されている。
- 研究開発基盤の充実：スタンフォード大学やカリフォルニア大学バークレー校など、同地域の大学は半導体分野の最先端研究を担っている。また、米国政府による国家半導体技術センター（NSTC）の本部がベイエリアに設置されたことで、同地域の研究開発を中核とする地位がさらに強化されている。
- 優れた人材と教育機関：カリフォルニア州は全米最多の約6.3万人の半導体関連雇用者を抱えており、ベイエリアの教育機関は産業ニーズに即した専門教育を提供することで、継続的な人材供給を実現している。学術界と産業界の連携により、同地域の競争力が維持されている。
- 戦略的な立地とビジネスエコシステム：テック企業、VC、スタートアップが密集するベイエリアは、業種横断的な連携が促進される独自のエコシステムを構築している。こうした環境は、技術の迅速な開発・商用化を可能にし、起業文化と資本へのアクセスによって、半導体企業にとって非常に魅力的な地域となっている。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

3 サンフランシスコの特長および課題

課題

- **グローバルサプライチェーンの脆弱性：**半導体産業は近年、供給網の混乱により深刻な影響を受けており、需要の急増と部材不足が顕在化している。これを受け、多くの企業が製造拠点の分散と再構築を進めている。設計とイノベーションの拠点であるベイエリアは、世界の製造ネットワークに大きく依存しており、これらの混乱の影響を受けやすい構造にある。
- **世界的な競争の激化：**各国が半導体製造の戦略的重要性を認識する中で、各地で投資誘致政策やインセンティブ競争が進んでおり、ベイエリアの競争力維持が課題となっている。アジアや欧州における新興クラスターの台頭を受け、継続的な研究開発と投資が必要である。
- **人材育成の必要性：**産業の急拡大により、高度なスキルを持つ人材の継続的な確保が求められている。対応するには、STEM教育や職業訓練の強化が不可欠であり、地域としての戦略的投資が求められる。
- **環境・持続可能性への対応：**製造拠点の拡大は、水資源やエネルギー消費などの環境問題を引き起こす。地域社会からの支持を得ながら持続的に成長していくためには、グリーン製造技術の導入や再生可能エネルギーの活用が重要なステップとなる。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

4 日本企業の市場参入機会

- **研究連携の構築：**日本企業はベイエリアの充実した研究開発インフラを活用し、共同研究プロジェクトを通じて先端技術の共同開発を進めることができる。日本企業はベイエリアの充実した研究開発インフラを活用し、共同研究プロジェクトを通じて先端技術の開発を進めている。例えば、ラピダスはシリコンバレーに設立した新会社を拠点に、米IBMとの協業のもと先端半導体技術の研究・設計支援を行っており、現地エコシステムとの連携を強化している。
- **スタートアップ投資とベンチャーパートナーシップ：**ベイエリアの活発なスタートアップ環境は、日本企業にとって有望な投資先である。ソフトバンク・ビジョン・ファンドは、複数の半導体関連スタートアップへ出資しており、先端技術への初期アクセスを確保しながらポートフォリオの多様化を実現している。
- **人材育成プログラムへの参加：**日本の教育機関は、ベイエリアの大学と連携し、専門的な人材育成プログラムの設計・実施を進めることができる。
- **環境持続性プロジェクトへの参画：**日本企業は、環境技術や省エネ分野での強みを活かし、ベイエリア企業と連携して環境配慮型の半導体製造プロセスを共に開発することが可能である。
- **政府支援プログラムの活用：**米国政府はCHIPS法などを通じて国内半導体製造の強化に注力しており、日本企業にとって州支援プロジェクトへの参画機会が広がっている。日本企業が専門知見を提供することで、インセンティブを享受しながら米国市場への定着と拡大が図れる。

出所：Rapidus

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

5 ベンチャーキャピタル

業務形態	詳細	専門分野	日本企業との連携状況	ウェブサイト
DCVC (Data Collective)	DCVCはパロアルトを拠点とするディープテックVCであり、半導体およびハードウェア企業への投資を積極的に行っている。材料科学、チップ設計、AIハードウェアなど、技術的限界に挑む企業に注目している。技術力の高いアーリーステージ半導体スタートアップへの支援実績が豊富。日本企業との正式なパートナーシップは確認されていないが、グローバルな製造拠点を持つ企業に出資している。	半導体、ディープテック、ハードウェア、AIチップ	日本企業との明確な関係は確認されてない	https://www.dcvc.com
AME Cloud Ventures	Yahoo共同創業者Jerry Yangによって設立されたAME Cloud Venturesは、クラウドインフラ、データ、ハードウェアのアーリーステージ企業に出資している。新しい計算アーキテクチャや次世代チップの開発企業への投資実績があり、スケーラブルな技術を持つ技術系創業者を支援している。日本のクラウド企業・テック企業との共同投資を通じた協業が時折見られる。	データインフラ、ハードウェア、IoT、AI	日本のファンドとの共同投資が時折行われている	https://amecloudventures.com
SkyDeck Fund (UC Berkeley)	SkyDeck Fundは、UCバークレーのアクセラレーターSkyDeckのスピンアウト企業を支援しており、半導体ハードウェアスタートアップも対象としている。UCの研究者との連携により、先端チップ技術へのアクセスを持つ。ハードテック企業の知財商用化やスケールアップを支援しており、大学との連携が日本の研究機関からも注目されている。	大学発スタートアップ、半導体、ディープテック	日本企業からの研究連携の関心がある	https://skydeck.berkeley.edu/

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

6 アクセラレータ・インキュベーター

業務形態	詳細	専門分野	日本企業との連携状況	ウェブサイト
Plug and Play Tech Center – Silicon Valley	Plug and Playは、ハードテックおよび半導体に特化した縦割りアクセラレータープログラムを運営している。パナソニックや富士通といった日本企業を含む世界中の企業がパートナーとして参加している。スタートアップは、メンタリング、オフィススペース、実証機会などにアクセス可能。米国のスタートアップとアジアの製造業・企業をつなぐイノベーションプラットフォームとして機能している。	半導体、IoT、インダストリー4.0	パナソニック、富士通などの日本企業がパートナーとして参加	https://www.plugandplaytechcenter.com
Berkeley SkyDeck	SkyDeckはUCバークレーの主力アクセラレーターで、大学発の半導体・ハードウェア企業を支援している。ラボ、研究メンター、業界紹介へのアクセスを含む。ディープテックおよびAIチップスタートアップの輩出実績が多数あり、日本企業もSkyDeckのGlobal Innovation Programに参加している。	AIチップ、ナノテクノロジー、シリコンフォトニクス	グローバル・イノベーション・プログラムに日本企業が参加している	https://skydeck.berkeley.edu
StartX	StartXはスタンフォード大学と提携しており、半導体を含むインパクトの大きいテクノロジースタートアップを支援している。選抜制プログラムで、スタンフォードの研究設備、アドバイザー、投資家ネットワークにアクセス可能。チップアーキテクチャやエッジコンピューティングに取り組む創業者も多数おり、日本のベンチャーキャピタルや産業系グループとの協業もある。	エッジコンピューティング、先端ハードウェア、AIシリコン	日本の企業が時折参加している	https://startx.com
Citris Foundry (UC Berkeley)	CITRIS Foundryは、UCの研究室から生まれたハードウェアおよびディープテックスタートアップを支援している。半導体材料やセンサーのイノベーションが主要テーマであり、ラボ、試作施設、資金調達準備支援を提供している。日本企業が学術交流を通じてディープテック領域に関心を示している。	センサー、半導体、材料科学	日本の大学との研究連携がある	https://citrisfoundry.org

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

7 公的機関・研究機関

業務形態	詳細	専門分野	日本企業との連携状況	ウェブサイト
Lawrence Berkeley National Laboratory	LBNL（ローレンス・バークレー国立研究所）は、材料科学、マイクロエレクトロニクス、量子技術に関する最先端研究を行っており、CHIPS法に基づくイノベーションエコシステムの一部を担っている。日本企業はこれまでに研究コンソーシアムや技術交流プログラムを通じて関与している。半導体関連の取り組みは、持続可能でスケーラブルな生産を重視している。	半導体材料、マイクロエレクトロニクス、省エネルギー	日本企業との研究コンソーシアムへの参加実績がある	https://www.lbl.gov
SLAC National Accelerator Laboratory	SLAC（スタンフォード運営）は、米国エネルギー省所属の研究所で、半導体およびフォトニクス研究を支援している。チップ製造における高性能材料やX線イメージング技術に特化しており、日本を含む国際研究チームを受け入れて共同研究を進めている。次世代チップ研究において重要な研究拠点となっている。	フォトニクス、チップ製造、イメージング	日本の大学や研究機関との共同研究を実施している	https://www6.slac.stanford.edu

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

VI.　オールバニー Albany (NY州、米国)

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

1 オールバニー概要

基本情報

- **都市の人口:** 10万1,000人
- **州:** ニューヨーク州
- **半導体関連従業員数:** 1万人 (2024年)
- **半導体企業数:** 不明 (2024年)



米国におけるオールバニーの位置

クラスター概要

- ニューヨーク州立大学オールバニー校のナノテクノロジー・科学・工学カレッジ（CNSE）は、応用半導体研究において世界有数の教育機関である。
- ニューヨーク州は、2024年にMicron、IBM、Applied Materialsなどの企業と連携し、総額100億ドル規模の「NanoTech-NanoFab」研究施設をオールバニーに設立すると発表した。



ニューヨーク州におけるオールバニーの位置

出所：World Population Review, Center for Strategic and International Studies

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

2 オールバニーの特長および課題

特長

- 2024年10月、半導体研究開発支援機関であるNY CREATESが運営するオールバニーのNanoTech Complexは、国家半導体技術センター（NSTC）の極端紫外線（EUV）アクセラレーター設置拠点に選定され、最大8億2,500万ドルの連邦資金を確保。この指定は、最先端のチップ製造技術を推進する上でのオールバニの中核的役割を示すものであり、施設には次世代半導体製造に不可欠な最新のEUVリソグラフィ装置が設置される。
- **強固な半導体エコシステム：**この地域には、GlobalFoundries、IBM、onsemiなどのグローバル企業が集積し、活発な半導体エコシステムを形成。特にGlobalFoundriesは近隣のマルタに大規模なファブを構えており、オールバニ地域を重要な製造拠点として確立している。
- **高度な研究開発インフラ：**オールバニーには、ニューヨーク州立大学オールバニー校のナノテクノロジー・科学・工学カレッジ（CNSE）が所在し、ナノテクノロジーおよび半導体イノベーションにおける最先端の研究を主導。産業界との戦略的連携により、新技術の迅速な商用化が可能となり、グローバル競争力を高めている。
- **国際的な戦略連携：**2024年8月、ニューヨーク州はNY CREATESとともに日本の北海道庁と半導体の研究開発に関する協定を締結。国際的な連携を深め、グローバルな半導体産業クラスターの強化とレジリエンスの向上を目指すこの取り組みは、オールバニーのグローバル・イノベーション拠点としての立場を強調している。

※ジェトロも2024年12月にNY CREATESと包括連携の覚書を締結

出所：NY Creates

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

3 オールバニーの特長および課題

課題

- **グローバルサプライチェーンの脆弱性：**半導体産業は、世界的な供給網の混乱により深刻な影響を受けており、需給逼迫が発生している。こうした課題を受け、企業は製造拠点の見直しや多様化を進めている。オールバニーは、国内生産能力の強化を通じてこうした脆弱性に対応する拠点として有望である。
- **激化する国際競争：**各国が半導体製造の戦略的重要性を認識する中、世界的な投資誘致競争が激化している。オールバニーが競争力を維持するためには、継続的な技術革新、研究開発への投資、そして戦略的パートナーシップの構築が不可欠である。
- **人材育成の必要性：**半導体産業の急成長により、熟練した人材の持続的な供給が求められている。オールバニーでは、教育機関が業界ニーズに即したカリキュラムを提供し、製造・研究の現場で即戦力となる人材を育成している。
- **環境および持続可能性への配慮：**半導体製造の拡大は、水使用量やエネルギー消費といった環境負荷を伴う。持続可能な成長と地域社会の理解を得るには、グリーン製造の導入や再生可能エネルギーの活用が重要なステップとなる。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

4 日本企業の市場参入機会

- **地域企業との戦略的パートナーシップ：**オールバニーにおける既存企業との連携は、日本企業の市場参入と拡大を円滑にする。例えば、日本の半導体製造装置メーカーが現地のファブと提携することで、専門機器やサービスの提供を通じ、現地産業への統合が容易になる。

  - **事例：Rapidus社とIBM社によるパートナーシップ**
    2022年、日本の半導体企業Rapidusは、IBMとの戦略的提携の一環として、アルバニーのNY CREATES内ナノテック施設に技術者を派遣している。この連携により、RapidusはIBMから最先端の半導体技術移転を受けるとともに、日本国内における次世代半導体の製造基盤構築に向けた知見を獲得しており、地域企業との協業が市場参入・技術深化に貢献する好例である 。

- **人材育成プログラムへの参加：**日本企業は、オールバニーにおける人材育成や教育プログラムへの参画を通じて、先端半導体分野における知見を深めることができる。こうした協業は、現地との関係構築や将来的な技術力強化にも寄与する。

- **環境分野での協業：**環境配慮型の取り組みに強みを持つ日本企業は、オールバニーの企業と連携し、エコな半導体製造プロセスの共同開発に取り組むことができる。環境負荷低減に特化した技術協力は、グリーン技術の進展や企業のCSR向上にもつながる。

- **政府支援の活用：**米国政府が推進する国内半導体製造の強化（CHIPS・科学法に代表される）により、日本企業にも州支援プロジェクトに参加する機会が広がっている。こうした事業への参画は、市場参入や拡大を促進し、現地での存在感強化にも資する。

出所：Rapidus

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

5 ベンチャーキャピタル

業務形態	詳細	専門分野	日本企業との連携状況	ウェブサイト
New York Ventures	New York Venturesは、Empire State Developmentの一部門として、半導体を含むハイグロースステージの資金を提供している。特に先端製造分野におけるイノベーションエコシステムの構築に積極的で、他のVCファンドとのシンジケーションやメンタリングも行っている。日本を含むグローバルな投資家との連携もある。	半導体 スタートアップ、 先端製造、 州支援型投資	州の貿易ミッションを通じた日本企業との過去の関与がある	https://esd.ny.gov/venture-capital
Sierra Ventures	Sierra Venturesはカリフォルニアを拠点とするが、米国内全域でスタートアップに投資しており、半導体設計・製造技術に関心を示している。戦略的な指導やネットワーク提供を行っており、ニューヨーク州北部でのスケールアップを支援した実績もある。日本の企業を含む戦略的LPとの連携があり、半導体製造やAIハードウェアスタートアップへの投資経験もある。	AIチップ、 ファブレス半導体、産業用IoT	ポートフォリオに日本企業とのパートナーシップを持つ企業が含まれている	https://www.sierraventures.com
Stonehenge Growth Capital	Stonehenge Growth Capitalは、ニューヨーク州内のハイテク分野を含む企業に投資するプライベートエクイティおよびベンチャーキャピタルファーム。アーリーからグロースステージまで幅広く支援し、州および連邦のインセンティブを活用している。アルバニーなどの半導体成長拠点との地理的連携が強く、日本企業との正式な関係は確認されていないが、国際的なシンジケーションには前向き。	グロースステージのテック、半導体、 州系VC	日本企業との正式なパートナーシップはない	https://www.stonehengecapital.com

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

6 アクセラレータ・インキュベーター

業務形態	詳細	専門分野	日本企業との連携状況	ウェブサイト
CEG (Center for Economic Growth) Innovate 518	CEGは、オールバニーを含むキャピタル・リージョンにおけるインキュベーター・アクセラレーターのネットワーク「Innovate 518」を運営している。ハードウェア系スタートアップに対し、ビジネス支援、ラボアクセス、大学との連携を提供しており、半導体関連のスタートアップも多く支援してきた。日本の貿易・イノベーション関連団体の訪問団を受け入れた実績もある。	ハードウェアスタートアップ、半導体技術移転	日本のイノベーション視察団を受け入れた実績がある	https://www.innovate518.com
RPI Incubator Program	Rensselaer Polytechnic Institute（RPI）が運営するこのインキュベーターは、RPIのラボと研究スタッフを活用し、半導体およびナノテクスタートアップを支援している。試作ツールや半導体製造研究へのアクセスを提供し、センサー系チップの大学発スタートアップが多い。日本の大学との共同研究や技術ミッションの受け入れ実績もある。	ナノテクノロジー、MEMS、半導体センサー	日本との学術連携がある	https://osat.rpi.edu/rpi-ventures
Tech Valley Center of Gravity	TroyにあるTVCOGは、半導体およびエレクトロニクス分野のハードウェアスタートアップを対象としたメイカースペース兼試作インキュベーター。クリーンルーム、PCBラボ、CADツールなどの設備が利用可能で、SUNY Polytechnicや地域の研究機関と連携している。州のプログラムを通じて、日本企業との人材交流や産業連携に関心を示している。	半導体試作、マイクロエレクトロニクス	日本との貿易連携に前向き	https://www.tvcog.net
SUNY Start-Up NY (CNSE site)	SUNY College of Nanoscale Science and Engineering（CNSE）の一環として運営されているこのプログラムは、Start-Up NYの一部であり、半導体企業がキャンパス内で税制優遇を受けながら活動できる。先端R&D施設やナノファブリケーション機器が利用可能で、日本を含む国際企業がこの制度の活用を検討している。特に半導体R&DにおけるFDIに適している。	半導体R&D、ナノファブリケーション、産学連携	外国直接投資プログラムを通じて日本企業を受け入れている	https://www.suny.edu/impact/business/start-up-ny/

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.

7 公的機関・研究機関

業務形態	詳細	専門分野	日本企業との連携状況	ウェブサイト
Albany Nanotech Complex (NY CREATES)	NY CREATESは、米国で最先端の半導体R&D施設の一つであるAlbany Nanotech Complexを運営している。ここには全米半導体技術センター（National Semiconductor Technology Center）のアルバニー支部もあり、東京エレクトロンなどの日本の大手半導体企業ともパートナーシップを築いている。共同R&D、試作、技術 人材育成を推進している。	半導体R&D、ウェーハ製造のイノベーション、材料技術	パートナーに東京エレクトロンが含まれている	https://ny-creates.org
SUNY Polytechnic Institute	SUNY Poly（アルバニー）は、ナノスケール工学および半導体 プロセスに関する先端研究プログラムを提供しており、教員主導の研究室は産業界や政府からの資金でR&Dを進めている。CHIPS法に基づく支援体制の中核機関であり、日本の研究者や企業と交流や 共同開発を行ってきた実績がある。	ナノスケール工学、半導体プロセス	日本の大学および企業との共同研究を行っている	https://sunypoly.edu

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.